

## 平標山～仙ノ倉山～三国山山行記録



目的地	平標山～仙ノ倉山～三国山	期 日	平成17年6月12日(日)
山行人	笠原正雄・笠原澄子	特 記	石楠花をはじめとした花の百名山であった。

地 点 名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前4:30発	曇	予報は曇と雨、昼頃から晴れ。傘歩行を覚悟したが結果は晴れだった。
駐 輪 地 点	6:45	〃	三俣で一時雨本降り、ここに来て晴れて来た。三国トンネルの新潟側に自転車配置。浅貝バス停迄戻り、6:55発のバスに乗り、平標登山口に移動。
平 標 登 山 口	7:35発	晴	人気の山だけに駐車車両が多い。トイレ、ストレッチをして歩き出す。
鉄 塔 下	8:25～8:35	〃	歩行開始15分で1枚脱ぐ。
松 手 山	9:00～9:10	〃	振返ると雲間に雪の付いた苗場山の広い頂が見える。
平 標 山	10:20～10:30	〃	少し手前でもう下山してくるパーティーと行き交う。木道階段に腰を下ろし少し食べる。この先石楠花が真っ盛りだ。山桜、ツツジもきれい。
仙 ノ 倉 山	11:20～12:30	〃	万太郎山への縦走路の登降がきつそうに見えた。シートを敷き、靴を脱ぎ脚を投げ出してランチタイム。数人だったが、中高年ツアーが来て賑やかになる。山座円盤で山を見る。谷川岳や越後三山方面の頂は雲が掛かっている。赤城・子持山等群馬方面は良く見えた。浅間山も確認出来た。
平 標 山	1:10	〃	戻ると大勢いた。山の家へ向かうコース上で、川崎からの有吉君と話す。彼はトレッキングツアー会社に勤務していて、来月カムチャッカへ行くので足慣らしに来たと言う。物足らないだろうと三国山への同行を誘う。
山 の 家	1:40～1:50	〃	仙ノ倉でのツアー客がいた。有吉君の同僚が引率している団体だった。
花 を 撮 影	2:05～2:10	〃	ツバメオモト、シラネアオイ、オオバキスミレ。このコース花の種類多い。
大 源 太 山	2:40～2:55	〃	縦走路から外れて登り15分程で山頂広場。平標から谷川岳へ連なる山が見える。但し、谷川岳の頂は雲がかかっている。虫が多くて閉口した。
三 角 山	3:15	曇	大源太山から縦走路に戻りここに。標識を見て、浅貝方面に急降下を始める。勘違いに気付き、登り返して三国峠方向へと修正する。約10分ロス。
三 国 山 迂 回	4:10～4:15	〃	ガスが出てきて、展望も無くなったのでトラバース。木道階段に上がる。
三国峠(権現社)	4:50	〃	転げ落ちそうな木道階段、途中ベンチで3分休む。ここを右折して広い遊歩道を下る。中間あたりで俺一人先行して車回送に向かう。
駐 輪 地 点	5:10	〃	ここから浅貝まで下り坂で自転車は猛スピードとなる。浅貝で車を回収し再びここに戻り二人を乗せる。群馬側で雷が鳴り、1～2粒雨が落ちた。
湯 沢 着	6:00	〃	有吉君を駅まで送る。

8年程前だろうか、二人で松手山～平標～元平新道を歩いた。今度は仙ノ倉までと三国山を周りたいと自転車を積んで出掛けた。天候に恵まれ予定コースに行くことが出来た。平標～仙ノ倉と山の家～大源太は花が見ごろだった。撮影に夢中になっている男が数人いた。彼らから名前を聞いて、花のお勉強をした。こんなに花を見つけたのは初めてのことだ。途中から有吉君と3人で歩き、より楽しい山行となった。しかし大源太辺りの虫には参った。ザックを下ろすと、そちらにも群がる。妻は血が出るほどに大分刺された。何か対策を考えないといけなと思う。

下山後、結婚してから初めて二人で湯沢のホテルに泊まる。翌日アルプの里へ。午後、R117へ廻り、柴村のりんご青年村へ出向き、サクランボ・アスパラ等を買う。帰路竜ヶ窪で名水を汲む。途中河野宅に寄る。5時過ぎ与板着。